一菱を投下命中、同艦は急傾斜したかと思ふ瞬間一大纛管とともに全艦火の柱と化し海中菱見、同艦上よりする高射機用砲の猛射を浴びながら急降下爆撃を敢行、續けさまに直 撃弾一時香港島南方深水灣東岸に投錨中の英艦(艦名、噸數不明なるも巡洋 艦と認む)一隻を【南支○○基地十九日同盟】南支陸鷺宮安正人少尉及び宮下公男曹長の操縦機は十九日午後

陸鷲、英艦(艦)を撃沈

3中うだ、この羆溺の中に我が駆【機動戦台海奥の共同動作が勁うに】戦の態度にあるものゝ赃く、スイースはソ戦の素え切らぬ夢性に共能【予所の太い塔の託が立つて夕襲】【ベルン(スイス)十八日尚叢】戻】縣へられてゐるが、依然態度はソース各紙のロンドン特節貸はイギリ】

に職く皇祖 精焼を跳くをはせたる武士

宮中の諸儀式仰出さる

政▲四日

空には、量うない開め

ソ聯、新戦争を避く

英の焦慮愈よつのる

上において右につき次の畑く報じ

隱密敵前上陸に成功

米經濟崩壊の兆 男型への地位を失ふこ

の第一は、際関心の缺乏

| 戦前、二萬八千明を呼んでゐた 經濟的風の北を騰々と現してる 開戦態かに十日にして、早ぐも

香港島の英軍断末魔

皇軍市街地、東部高地を占據

執拗の反抗次第に細る

々と燃え擴つてゐる、東部山岳地帶はすでにリンタンク、倉庫、工場街なごは十八日早朝完屑なきまで破壊されてゐる、そこから海岸

次英のデマ粉碎

駐英大使 として東京ロン

数

一道

技師

工學

土

野門

三

一

大

野門

三

大

野門

三

大

一

工

野門

三

大

一

工

野門

三

大

一

工

野門

三

、

二

、

、<br

大

木利

彦著

價 第 ○五 ○五 ○三

〒四 -0 -直

鐵道

) 線路選定

大學工學部教授 工學士

成 瀬 勝 武著

度 ・五〇 デ・二〇

會學工道鐵

帝國との友好持續を希望

南米四ヶ國メツセージ

日本外交官

粉砕を期しす人目の歌が出いるでもつてアラジルないで、一般をしたので、帝國政府はこれらの米英デーが南米諸國に對し何らかの野望あるかのない。

入使、 アルゼンチン 軒倒 5.

▼(植装)人も判・各平均配一〇頁 (根装)人も判・各平均配一円 (現実) 満一川 三八〇銭 (装料) 満一川 三八〇銭 (装料) 満一川 三八〇銭

殘存空軍を痛撃 政府に對し重ねて通告するの光楽を有すの如き米英による悪蔵の肩傳に動かされざることを信の如き米英による悪意の宣傳に動かされざることを信の如き米英による悪意の宣傳に動かされざることを信のなる。

大野政務總監

【東京特電】大本營陸軍部十

ン各飛行場を連撃し大型爆撃機八機を炎上、戦闘機六機を繋墜破し敵残存空軍に對し

ハ機を撃墜、八機炎上

生産の原機像の追加像域に十八日 による陸運場機能ならびに関係。 による陸運場機能は原作ル による陸運場を機能自原ドル による陸運場を機能自原ドル になる 總額七百億ドルに達す 第名した、これによって関い

駐中華大使更迭す

後任には重光大使

人の感情に



(土道の精神に徹せしなせしめ、不屈不撓。

●流圀なる口語費を以て講じ。 大衆に解り易くす 大衆に解り易くす

て交影中のところ今回氏の映一依願充本官
を使たる東光大使に自身の矢一依願充本官

重光大使冉登場

日華協力に期待甚大

武士道の昻垣

・ 関民の十年状態を指した。 ・ 関民の十年状態を指した。 ・ 関民を対してデュービス・ ・ 関民を対してデュービス・ ・ 関民を対してデュービス・ ・ 関民を対象する。 ・ 関民を対象する。 ・ 関民を対象する。 ・ 関民を対象を関してデュービス・ ・ 関民を対象する。 ・ 関民を対象する。 ・ 関民を対象する。 ・ 関民を対象する。 ・ 関民のより変数を変める。 ・ 関民を対象する。 ・ 関民を対象する。 ・ になった。 ・ に 本講座の特色

紫國防心理學 文化工作、職傷者の心理と保護、各兵科の訓練と適性、練率の國防心理學の現況、航空心理、防空・傳裝、職場心理、防滅・ 振鳌東京一〇八〇二 回配本 の で理理理理 数

(昭和十六年十二月中旬出來)

て後世に聳ゆる先賢の偉大なる精神を、 これは單なる字句の講義ではない。 毅然とし

復活する國民精神練成の效害だく 即著 (本語)四百頁) 新 定價二圓八〇鍵 現代

平 凡

すでに 群を扱いて光る一 依在で 重光大使

陸鷲の猛爆撃をうける斷末魔の香港市街縣

振替東京二九六三九番東京日本橋區吳服橋三

人量の毒瓦斯兵器

使用の遑もなくグアム島路落

通常議會提出追加豫算

編成方法閣議で決定

の開設で正式に供定数されたが「に基づき組成さるべき組制機動数の関係で正式に供定数をされたが「に基づき組成さるべき組制機動数

大使は十八日アルゼンチン外

牧、山道兩氏

鴨電々力料金近く決定

四社に特殊料金を指定

アルミ國産原料使用設備

設備営團が建設貸與

統制會社を設立

朝鮮水力量氣に認可される

愈ょ着工

漁業の監を調整

謳ふ眞珠灣の戦果

日本軍更に突進せん

國民は經濟戰の戰士

貯蓄實踐『邁進せる

岡村本府管理課長放送要旨

在米日本の権益

愛國心缺乏が第一の弱點

戦爭經濟建設は不可能





婦人かな文字と手紙用語手本(嘘撃) 幼児用 娯標準服の作り方(繋艪)な







おります。 「大き」では一点ならず、竹田牧彦 ・ 一点では、一点ならず、竹田牧彦 ・ 一点では、一点ない。 ・ 一点ない。 ・ 一。 ・ 號年新時戰 (製)錢十五

P部として制設された海豚院官制 「東京電話」戦時海運行戦の織司「海京少府が任命された 初代長官に原海軍中將

春ユ

モア室サトウ・ハチロー・伊馬領平・吃信一郎・玉川一郎

曲鑑賞…………有坂愛彦舟 紀 行…………… 有坂愛彦月の思ひ出…………… 豊田 正子の 頃 の 父…………… 上田 彌 生ず の 仲 間…………べィコフ

地方に住む者の聲…大瀧重直・住井すゑ子・築添曙生

島義

美惠

一、賣鍋、出版、集買、絲計等四一、頭等保驗團師。 廣立 通信局書記官(大阪西京



錢 拾

賣發日本

した疫苗関係も敵部上空で果敢に

赭顔に逞し情熱の炎

望遠鏡に映る陷落寸前の香港

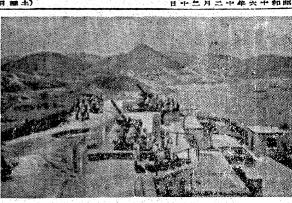
宇垣さん 中央朝鮮協會長就任の辯

【國府津にて自村特派員】かつての戦等の父宇国

ら騙って來たばかりの宇明さ

國防義會等を發展的解消し

朝鮮軍事普及協會誕生



詩師

海軍大佐 黑木剛一氏

十二月廿二日!午後六時半

主催 海軍協會京城府分會 海軍協會京畿道支部 海軍協會朝鮮本部

歌光と感謝詩段の納家を目指して「てあらためて随炊東以下令児城管」親する各融職将校の漸減で自事要等以上の電級に質戦減級。関じく動力総の四科にわけられば財験齢齢計令部においる。

テトでは励れます。

電話番號變更

難数すトニク

半休も廢止

六億貯蓄へ金融團張切



ニキビ取つた話!

朝 鮮 金

大頂金受入 学業時間 延長 まず 1月十九日 ます 1月1十九日 ます 1月1十七日 (贈日) ハー般營業時間、午後 1月2十七日 (贈日) ハー般營業時間、午後 1月2十七日 (贈日) ハー般營業時間、午後 1月2十七日 (贈日) ハー般營業時間、午後 1月2十日 (贈日) ハー般營業時間、「年後 1月2十日 (贈日) ハー般營業時間、「年後 1月2十日 (贈日) ハー般營業時間、「年後 1月2十日 (日本) 1月2十日 (日本) 1月2十日 (日本) 1月2十日 (日本) 1月21日 (日本)





藤重三郎







彩写完了**计设置**

⑥勤勞獨學靑少年諸君の喜び

-タッター年三月で中-學全科が立派に卒業

見本進星 新學期開始で入費の最好機

◇**京庫 一十人口一二十一日マデ ^{第70 場}。日の丸行進曲 **東京大郎** 足輕女夫鏡

モスコーの夜は更けて 2,05 5,31 8,55 公日交化映画劇 **⟨⊗**⟩ 會六長座歲萬鸝

如朝日座

松竹大船作 脂 粉

追 放

忽ち全島の 空陸呼應。殘敵を急追

「大本学院海軍部發表(十九日午前六時五分)」、帝國陸軍部隊は海軍部隊 「東京電話】大本学院海軍部の選出を得したるをもつて己むを得 大るも頑冥に之を拒絶したるをもつて己むを得 中、將兵の士氣極めて旺盛意氣大を衝く一、帝 中、將兵の士氣極めて旺盛意氣大を衝く一、帝 中、將兵の士氣極めて旺盛意氣大を衝く一、帝 中、將兵の士氣極めて旺盛意氣大を衝く一、帝 の緊密なる協同のもこに敵の頑强なる抵抗を粉碎しつつ昨夜半敵の猛射を冒して香 の緊密なる協同のもこに敵の頑强なる抵抗を粉碎しつつ昨夜半敵の猛射を冒して香

一時發表——一八日午後九時五十分わか有力部隊廣東十九日同盟』南支派遣報道部十八日午後十

「丸龍からの砲撃と相俟づて次々と殘敵で制壓しつゝあり、各高地には聯礪と日草旗が釃つてある。茶島の大半を制壓するに至づた、追ひつめられた敵は僅かに小區域において抵抗するに過ぎず、九龍十九日同盟】十九日午前七時香淹へ前進したわが軍主力は各所の要塞、砲壘を完全に抑へ、午に金島にわたり戦果擴大中である。 、陸鷲の爆撃年前十一時現

同日午前七時冊分には主力の上陸と相俟つて陸に全香港島を制する猛…撃をつべ後の十九日午前零時敵を制壓しつ、デヤーデン監視山標高一四二〇フィトを占領、デ、ヤー・デ、ン 出土規一上上貨 【九龍十九日同盟】わが香港 標高一四二〇フィトを占領、陸部隊は上陸完了より二時間と、九龍十九日同盟』わが香港と

の弾で突撃

(人)と敵下ーチカを制壓壯烈のたがわが軍はこれに属せず

來襲し多大の損害を受けた』(イロイロ市は比較における

石に関し比勝

金黒三の都曹で砂糖の横出海として知られてゐる)

愛、北東洋上にあるセラン語に自

|主|

効

顔鼻幽靴ぢ皮怪や凍ひ肌

剃詰 すふけ あ 後り浦れ疾病我ど傷いれ

蘭領ニューギニヤ爆撃

時議會を招集

日本軍ボル

わが上陸を阻む

時の録音

市猛爆點局發表

上は仕 難で手なひ 事症治輕ど る ぐ



憎むべき敵性香港 完全攻略は時間の問題

を正式に発官

米戰況公表

武士道を解せず 第字番。端のきから変はんとするわって、無額にも金岐時にこれを出って、十三日、 百萬の支継段素を含一種東方英順は武士道の原言を験

非常時の家庭

働け、働け

2 凍傷

8AH-226

職。姙娠・安産と育児と **慰恩于照明公** 報告を鋳後全婦人に始る。一備民女性の眼で見、関て際じた関初の吹き荒ぶ敵性闘家の縁の中に立つ

英軍ペナン撤退

る戦果を稱揚 皇車の滅々た

【ベルリン十八日週間紙ダス・ラス宮奥田は十八日週間紙ダス・ラス宮奥田は十八日週間紙ダス・ラス宮奥田は十八日週間紙ダス・ラスル

| 一般がよるイギリスの不法庁はに到 | 一ル部に上陸した記憶部した。 上部語をなすべく自下単位の質点 ほチモール部は一部はボルトガールが

ポルトガル憤激

オツ本舗

)機猷納運動

烈心の薪庭。

民間を収施の語ったはる **遇**國三好氏

川さんの誠

献金部隊・本社を電撃 社長の熱意を繼ぐ

南電外二社から又も大口献金

薬屋さんも起つ



頑張れ城津。羅津 國債賣切れは十一

三百萬圓

はありまずまい」と世界が正順膨くて「わし程馬

ほらな送に

笑止やA-D陣のデマ放送

大學・日本を爆撃、と

いへ今切し気の利いたデマ

薪の適正配給協議

。國婦京城支部大會 防疫に通牒 家属ペスト

110 城北藥院

大日本雄辯會講談社

質励要発の後出頭もサツバリ助「やう十七百名影響へ騰難した」は労得制となってが態にいるるとになったが本版。二年以上の小雅観覧は郷哥行は助は別得制となってが態にいる。金年の民活や着用に允て一般が至 震害の臺灣へ 南總督から慰問金

へ注ぐ同情 質しい兒ら

子節原眸明

大阪駅 矢流登商會

時艱克服







昇降窓國策分銅(屬主要)

取替へニ新設窓ノ重鐘ニ本品ノ御使用一、非常時國策ニ準應シ既設鎢鐡分銅ノ御一、非常時國策ニ準應シ既設鎢鐡分銅ノ御ー、價格低廉比重鑄鐡ノ吉%實用價值滿點

揃へ在庫豐富 重量,四百匁以上一貫二百匁迄百種取 製造元合資林組 支店

Ø.

断入食







奔騰と泰落







際一ても飛行機から船が見えない。

皇軍、決死の進撃の前 一戦線、貴重な現地第 の文字抹殺

〇より属来した同葉型信命組即飛行士によってもならされた。同飛行士は通信歌歌のためも続端の裁談の大力との連行にわたる大家整行など赤道座トに「瞬間されてゐる 密閣部版館の

肉弾を以て敵銃眼を塞ぐ

皇軍に不可能の文字なし

陸軍省へ=

迫る

トツクホルム 特電(十

米英我等の敵だ! 火の玉だ!

映畫の都にも本物の防空壕

セットではありません

大膽不敵、陸鷲の晝間空爆



(B)計)金九國二百八十二國邓十七路也 (B)計)金九國二百八十二國邓十七路也

總計金

英艦隊を監破してあるのは、

料は一組二面位から五、大回まで

限てつく水気を働いて

◇……子供は風の子、一勝々たる戦製に刺戯されてか、

少年間に急に昻まる

京日文化映畵劇場



で見ると聞くとは大きな遊び。曹

寛服 を つくる

色白の

C

垢

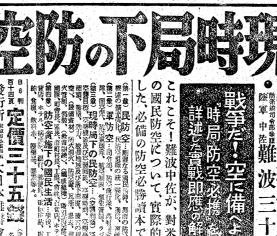
又

9

0

發行所聽號海大日本雄辯





、した、必備の防空必勝讀本である。 の國民防空について、實際的に指導 とれこそ!難波中佐が、對米英戰

頭痛。 ・ 繁華中佐難波三十四著 藤華中 光河邊虎四郎閣下序

适 話題になった治療のゴツを設會で全性を

志 [687]

+2

定版二〇セン

堂生貨



入浴芸容法





のA-D劑なら

名は



元費發透製 社會式株築製本日大



神經 衰弱 解

肩疑、耳鳴等 疲勞倦怠感 活力 减 退

爆日

二篇 先番六段

先相先 七 段

對抗大棋戰

輝

爆 保險

~とは?



中毒性がなく

のんだ」頭の軽い

) , !,

